



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院



医療法人 社団

光仁会 梶川病院グループ 広報誌

- 医療法人 社団 光仁会の理念
『光仁会は 地域の人々の健康と幸せに貢献し
あわせて働く人達の健康と幸せを追求します』
- 医療法人 社団 光仁会の基本方針
『地域包括ケア』『医療療養』『透析医療』を三本の柱とし
予防・治療・在宅まで切れ目のない医療を提供し
地域医療に貢献します

2023年 秋号



SSTのメンバー

特集：摂食嚥下サポートチーム(SST)とは？

- 委員会紹介：褥瘡対策チーム
- 介護施設情報：通所リハビリテーションすみれ
- 光仁会 梶川病院トピックス

摂食嚥下サポートチーム(SST)とは？

口腔内(歯、のど、口の周囲・顎・頬の筋肉など)の働きが悪くなると、口から食べ物を食べることができなくなります。摂食(せっしょく=食べること)・嚥下(えんげ=飲み込むこと)の障害は、窒息や肺炎、低栄養など生命の危険に直接的に結びつくだけでなく、「食べる楽しみ」という人間の基本的欲求や生活の質にも関わります。

当院のSSTでは、食物を咀嚼できない、食物が飲み込めない、食事の時にむせる、食事に時間がかかる、栄養状態が悪い、などの症状がある入院患者さんを対象とし、栄養状態、食事の状態、口の中の衛生状態をチェック・評価し、医療専門職との連携により治療や訓練を行うことで、食べる機能の回復や肺炎の防止を目指します。

食べること、飲み込むことなどで気になる症状があれば、まずは医師にご相談ください！

SSTの主要なメンバー

医師がチームの統括役として、患者さんの全身状態の管理、リスク管理、検査や治療方針の決定を行います。摂食嚥下機能低下につながる症状があれば、医学的な側面から、原因を知るための検査を行い、治療、機能改善に努めます。

その他に以下のような職種が参加し、多職種の専門知識を活かした活動を行います。

- ・看護師 体調管理、全身の観察、食事介助、口腔ケア、薬の投与など
- ・管理栄養士 栄養状態の評価、栄養食事指導など
- ・言語聴覚士 摂食・嚥下機能を回復・再獲得する訓練、食べ方の指導など
- ・作業療法士 姿勢の維持、腕や手指の訓練、食事動作の治療・指導・援助など
- ・歯科衛生士 食事摂取状況の評価、口腔ケア、義歯管理の指導など

摂食・嚥下アプローチの実際

・活動の内容

摂食・嚥下機能の障害に対してまずはスクリーニング検査を行い、主治医と言語聴覚士で機能の評価とリハビリテーションを考えていきます。リスクのある患者さんに対しては嚥下造影検査を行い、誤嚥性肺炎などを起こさないように予防的に介入していきます。週に1回チームで昼食時に巡回することで、多職種の視点から患者さんの摂食・嚥下行動を評価し、食事を支援していきます。

ミールラウンド(食事場面の観察)

・食事形態の選択

摂食・嚥下障害のある人が安全に嚥下できるように工夫した食事を「嚥下調整食」といいます。ペースト食、ソフト食、ミキサー食など、病院によって種類はさまざまです。SSTでは、「おいしさ」と「安全」を可能な限り両立できるように、患者さんの能力に合わせて最適な食事形態を考えます。



嚥下調整食の一例
(ミキサーにかけた食事をゼリー状に固めた状態です)

・体幹角度の調整

それぞれの姿勢の特徴を理解し、患者さんの症状に応じた姿勢を選択します。



その人に合った適切な角度を選択します

・食べ方の工夫

食べ方を工夫するだけでも誤嚥の防止になり、やむせを減らすことが可能です。一口量や食事の速さ、食べる順番などを患者さんに合わせて工夫することで、食事における負担を軽減します。



多職種が協力して食べ方を工夫します

カンファレンス(会議)



それぞれの職種の視点から意見交換します

・ラウンド結果について報告

工夫した事、変更した事などを情報共有します。

・5分間勉強会

チームメンバーの知識向上のため、週替わりで担当を決め、摂食嚥下について勉強します。



◆褥瘡対策チームとは

褥瘡(床ずれ)は、皮膚を圧迫する力に対して「せん断応力」「引っ張り応力」「圧縮応力」の3つの応力が複雑に働きあい、組織や細胞に血液が十分に供給されない状態を引き起こして発生します。

褥瘡対策チームは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカー等の多職種が協働し、①褥瘡発生リスクが高い患者さんに予防対策を行う、②褥瘡が悪化しないように治療方法を提案する、③なるべく早く治癒するように、また再発しないように環境を整えていく、等の活動を行っています。

◆活動内容

褥瘡予防回診

月に2回、チームメンバーで、院内における褥瘡保有率や発生状況と経過の把握を行っています。褥瘡を保有する患者さんの栄養状態評価や、褥瘡対策に関する問題点などについて検討を行い、対策を立案して各部署へ情報提供を行います。また、褥瘡に関する勉強会を開催し、スタッフの教育に活用しています。

褥瘡対策会議

月に2回、褥瘡患者さんのベッドサイドへ訪問し、褥瘡の評価や処置方法の検討、体圧分散マットレスの見直し、ポジショニングなど、患者さんの状況に応じたケアについて、病棟スタッフへ指導を行っています。あわせて、医療用テープ類、創傷被覆材などの管理状況の確認、体圧分散マットレスの点検なども行っています。

◆褥瘡予防に重要なポジショニングに力を入れています

患者さんにとって安楽な体位や姿勢を保持することをポジショニングと言いますが、褥瘡予防に重要な役割を持ちます。画像のようにクッションなどを使用して、身体がずれないように面で支える適切なポジショニングを行う事で、褥瘡、拘縮、変形の予防になります。

今後も患者さんへより良いケアが提供できるように、褥瘡対策チームはポジショニングに力を入れて頑張ります!!



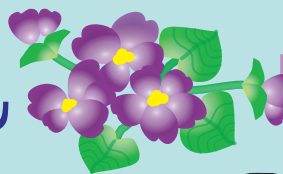
【是正前】
膝下に隙間ができている
(不良肢位)



【是正後】
クッションを使用して面で
支えている



職員同士でポジショニングを検討します



スタッフ紹介

私たちがお迎えに参りま〜す



スタッフのマイブームとモットーをご紹介します!

私のマイブーム

綿部 ダイエット
中神 アイスcream
井前 Jポップの名鑑探し
山根 アニマル探し
石井 みそ汁
内田 歩き回る

龍神 韓国ドラマ
松本 数秘術勉強中
荒木 蒼井翔太くんの曲を聴く
山下 ヨーグルト
亀田 ゴルフ
木曾 神戸散策

私のモットー

石川 真面目にコツコツ
西岡 笑顔を絶やさない
北森 楽しく過ごす
國寄 話しかける

お待ちしております



2023年7月1日 新任医師のご紹介



腎臓内科

大成 小百合（おおなり さゆり）

- ・内科専門医
- ・日本透析医学会透析専門医
- ・日本腎臓学会腎臓専門医

専門は腎臓内科と人工透析です。

7月より毎週金曜日の外来、ならびに人工透析センターフェニックスクリニックを担当させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

2023年5月9日 永年勤続表彰を行いました

当法人への勤務が30年、20年、10年の節目に当たる職員を対象として、その長年の功績を表彰する目的で永年勤続表彰が行われ、第41期は、勤続30年が1名、勤続20年が5名、勤続10年が8名が表彰されました。

職員の皆様のこれまでの尽力に心から感謝の意を表すと共に、今後とも健康に留意され、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

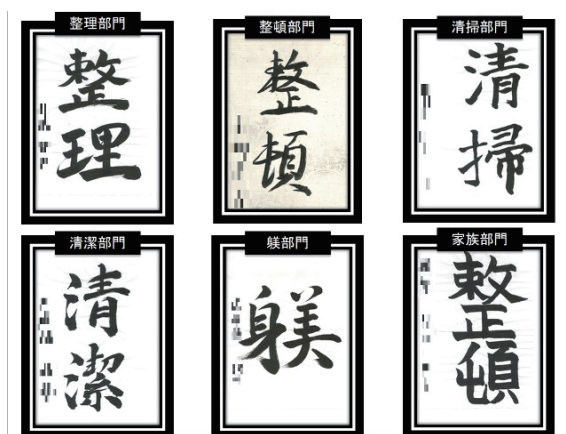


表彰式に参加した職員で記念写真です

2023年6月6日 5S書道大会を開催しました



特選おめでとうございます！



入選となった皆様の作品です

一昨年より取り組んでいる5S活動のより一層の周知・推進を目的として、患者さん、利用者さん、職員とそのご家族を対象として書道大会を開催しました。

全部で50作品の応募をいただき、特選は職員のご家族でした。応募いただいた皆様、ありがとうございました。



外来担当医師紹介



院長
すえまる なおこ
末丸 直子
内科
《外来診察日》
月・木・金曜日



副院長
くめ たかし
久米 隆
泌尿器科
《外来診察日》
月・水(隔週)・木・金曜日



副院長
あさみ よしあき
浅海 良昭
外科・内科
《外来診察日》
月・火・木曜日



血液内科部長
いわと こうじ
岩戸 康治
血液内科
《外来診察日》
火・金・土曜日



ひのい としひで
檜井 俊英
内科・循環器科・禁煙外来
《外来診察日》
火・金曜日



おおなり さゆり
大成 小百合
腎臓内科
《外来診察日》
金曜日



くしはた しげゆき
串畑 重行
非常勤 内科・禁煙外来
・頭痛外来
《外来診察日》
水曜日



はらだ ひとし
原田 仁
非常勤 整形外科
《外来診察日》
月・木曜日



なかはら みつる
中原 満
非常勤 泌尿器科
《外来診察日》
火曜日



こはだ ゆうき
小羽田 悠貴
非常勤 泌尿器科
《外来診察日》
水曜日(隔週)



あいはら さき
相原 彩貴
非常勤 総合診療科
《外来診察日》
水曜日



外来診療 予定表

診療時間

午前 9:00～13:00

・受付は12:30まで
・リハビリ受付は12:00まで

午後 14:00～18:00

・受付は17:30まで
・リハビリ受付は17:00まで

休診日

土曜日午後
日曜日・祝祭日
8月14～16日
12月30日～1月3日

※ 令和5年9月1日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	末丸直子 (9時半から)	浅海良昭 岩戸康治	串畑重行 ※禁煙外来 ※頭痛外来	末丸直子	末丸直子 大成小百合	岩戸康治
	午後	浅海良昭	檜井俊英 ※禁煙外来	相原彩貴	浅海良昭	岩戸康治 檜井俊英 ※禁煙外来	
外科	午前		浅海良昭				
	午後	浅海良昭			浅海良昭		
泌尿器科	午前	久米隆	中原満	久米隆 小羽田悠貴 (週交代)	久米隆	久米隆	広大泌尿器科
	午後	久米隆	中原満	久米隆 小羽田悠貴 (週交代)		久米隆	
血液内科	午前		岩戸康治				岩戸康治
	午後					岩戸康治	
循環器科	午前						
	午後		檜井俊英			檜井俊英	
腎臓内科	午前					大成小百合	
	午後						
整形外科	午前	原田仁			原田仁		
	午後	原田仁 (15時から)					
総合診療科	午前						
	午後			相原彩貴			

病院概要

名称	医療法人社団光仁会 梶川病院
所在地	〒733-0022 広島市西区天満町8番7号
電話番号	082-231-1131 (代表)
FAX	082-231-8866 (代表)
URL	http://www.kajikawa.or.jp
開設	1980年5月(昭和55年)
院長	末丸 直子
診療科目	内科・外科・泌尿器科・整形外科・循環器科 肛門科・放射線科・リハビリテーション科 人工透析内科・神経内科・血液内科
病床数	88床 (地域包括ケア病棟48床、医療療養病棟40床)
基準	地域包括ケア病棟1 療養病棟入院基本料1(在宅復帰機能強化加算)
併設	通所リハビリテーションすみれ(定員40名)
主な設備	オープンタイプMRI 16列マルチスライスCT 高精度デジタルX線透視装置 等

光仁会 梶川病院は、地域の在宅医療を支える病院です

透析を含む一般内科・外科・泌尿器科を中心とした治療を行っています

個々に応じたりハビリを行い、在宅・社会復帰に向けたきめ細かな支援に力を入れています

人工透析をされている、もしくは導入予定の方は、退院後も外来透析が可能です(フェニックスクリニックにて実施)

各部署が連携をとりながら情報を共有し、患者さんひとりひとりに合った医療・介護を提供するよう心がけています

周辺案内図

公共交通をご利用の方は

- ・広島電鉄市内線
天満町電停下車 徒歩2分
- ・広島バス25号線
天満町バス停下車 すぐ



光仁会 梶川病院グループ

【広島市域事業所】

- ① 光仁会 梶川病院(入院・外来)
電話:082-231-1131
〒733-0022 広島市西区天満町8-7
- ② フェニックスクリニック(人工透析)
電話:082-293-8400
〒733-0031 広島市西区観音町7-29
- ③ あしたば訪問看護ステーション
電話:082-234-0585
〒733-0022 広島市西区天満町13-19
- ④ 通所リハビリテーションすみれ
電話:082-231-1196
〒733-0022 広島市西区天満町8-7
- ⑤ 居宅介護支援事業所リンデン
電話:082-297-7717
〒733-0022 広島市西区天満町13-19

【廿日市市域事業所】

- 老人保健施設べにまんさくの里
電話:0829-50-0031
〒739-0478 廿日市市大野1320

【庄原市域事業所】

- こぶしの里クリニック
電話:08477-2-5255
老人保健施設こぶしの里
電話:08477-2-5252
〒729-5121 庄原市東城町川東152-4



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院

医療法人 社団

光仁会 梶川病院

内科/外科/泌尿器科/整形外科/循環器科/肛門科/放射線科/
リハビリテーション科/人工透析内科/神経内科/血液内科

発行:医療法人社団光仁会 梶川病院
編集・文責:法人管理本部

〒733-0022 広島市西区天満町8-7
TEL(082)231-1131(代) FAX(082)-231-8866(代)
http://www.kajikawa.or.jp